

子育て暗黙知の解明のために

日本子育て学会会員交流委員会

暗黙知インタビュー・教材作成
若者文化研究所
西村美東士

日本子育て学会

会員交流会

親子のやりとりの
「暗黙知」とは？

会員限定
参加費は
無料です

日時 2026年 3月14日(土)

時間 10:00~12:00

場所 オンラインZOOM

お申し込みいただいたみなさまには
メールでお知らせいたします。

2026年度の交流会では、会員さんにご協力
頂き、保育現場、子育ての動画を視聴し、
そこから見えてくる「暗黙知」を明らかにしてい
こうと予定しております。

「暗黙知」を動画から紐解くとはどういうこと
か、今年度最後の交流会では、交流委員会メン
バーの子育ての場面動画を使いながら、皆様に
体験していただきます。

奮ってご参加ください。

当日の流れ

1. 出演者の自己紹介
2. 本日の流れ説明
3. 子育て動画視聴+インタビュー
(90分程度。参加者は傍聴のみ)
4. 全体ディスカッション

交流会実施メンバー

インタビュアー 西村美東士
(若者文化研究所 若者文化研究所代表)
保育専門家 黒米聖
(一般社団法人日本保育教育研究会代表)
ビデオ提供者 バレイ友佳子
(一般社団法人キッズソリューション代表)
委員長 勝浦範子
(一般社団法人イエローピンプロジェクト代表)

参加希望の方は、会員メールに届く、
申し込みフォームのリンクからお申し込みください。

バレイさんの課題

テーマ	親がわくわくしながら子育てを楽しむために必要な能力		
働いている場所・環境など	3人：男児、女児、男児 年齢は、動画ごとに記載 幼稚園通園（3歳まで自宅）	（職場での）立場と役割	母親
（職場の）コンセプト	家族仲良く暮らしながら 自信をもってチャレンジ できる子に育てたい。	（職場の）課題	多忙中だが、家族の心の交流を大切にしたい。 だが、子どもの「健全」や「成長」に反する状況は気になる。夫と考え方が異なることもある。
その人物の主な実務	料理、洗濯、掃除、買い物、親子の会話、他の親との交流。できる範囲内の内勤仕事。	その人物の基本的考え方	自分の人生の大切な一環として、子育てに取り組みたい。
その人物の優れている仕事ぶり	待つ時も、肩を押す時もある。家族関係を支持的風土にする。	その人物の抱えている課題	多忙で自分の時間がない 子どもひとりひとりと向き合う時間が足りない。

動画

1. 親子でシェアコントロール遊び（兄 10 歳、妹 8 歳、弟 6 歳）
2. 兄が弟の自転車を手伝う（兄 9 歳、弟 5 歳）
3. ゴミを捨てさせようとするも失敗（兄 7 歳、妹 5 歳）
4. 兄妹で滑り台（兄 5 歳、妹 3 歳）
5. 兄が弟を滑らせる（兄 5 歳、弟 1 歳半）

子育て暗黙知インタビューの内容

- 何を狙っていたのか
- 子どもをどう見て、どうとらえるか
- どの程度やるか(言うか)
- ほかのケースではどうか
- 例外的な場合はあるか
- 狙いどおりいかないのはどういう場合か
- 狙いどおりいかない場合はどうするか

また、母親には、兄弟への期待と、とくに、長男への期待をお聞きし、専門家に、異年齢の扱いと、家庭への期待を助言していただきます。

1 親子でシェアコントロール遊び (兄10歳、妹8歳、弟6歳)

2 兄が弟の自転車を手伝う (兄 9 歳、弟 5 歳)

3 ゴミを捨てさせようとするも失敗
(兄 7 歳妹 5 歳)

4 兄妹で滑り台（兄 5 歳、妹 3 歳）

5 兄が弟を滑らせる
(兄 5 歳、弟 1 歳半)

